

2019年3月期決算 決算説明会

株式会社 **トクヤマ**

2019年4月26日



2019年3月期決算のポイント

- 第4四半期の主力製品の販売数量が計画未達で、通期見通しを下回る。
- 2020年3月期は販売数量の回復により、増収増益の見通し。
- ICT分野の成長戦略を着実に実行。
- ヘルスケア分野も成長の方向性が固まり、研究開発、販路開拓などの事業戦略遂行に注力。

CONTENTS

- 1 2019年3月期 決算
- 2 2020年3月期 業績予想
- 3 中期経営計画の進捗
- 4 補足資料

1 2019年3月期 決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析

1. 決算概要

(億円)

	2018年3月期	2019年3月期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,080	3,246	+165	+5	苛性ソーダの価格是正
営業利益	412	352	△60	△15	苛性ソーダの価格是正 原燃料コストの増加
経常利益	361	334	△27	△8	営業利益の減少 営業外損益の改善
親会社株主に 帰属する 当期純利益	196	342	+145	+74	特別損益の改善
1株当たり 当期純利益(円)	259.81	493.26	-		-
為替(円/\$)	111	111	-		-
国産ナフサ価格 (円/kl)	41,900	49,500	-		-

1. 決算概要

(億円)

	2018年 3月末	2019年 3月末	増 減	主要な変動要因
総資産	3,619	3,796	+176	新規連結子会社の発生等に伴う 固定資産の増加
自己資本	1,256	1,527	+271	親会社株主に帰属する 当期純利益の積み上げ
自己資本比率	34.7%	40.2%	+5.5ポイント	-
有利子負債	1,399	1,289	△109	長期借入金の減少
D/Eレシオ	1.11	0.84	△0.27	-
ネットD/Eレシオ*	0.58	0.40	△0.18	-
1株当たり純資産 (円)	1,806.56	2,199.83	-	-

*ネットD/Eレシオ: (有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託) / 自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

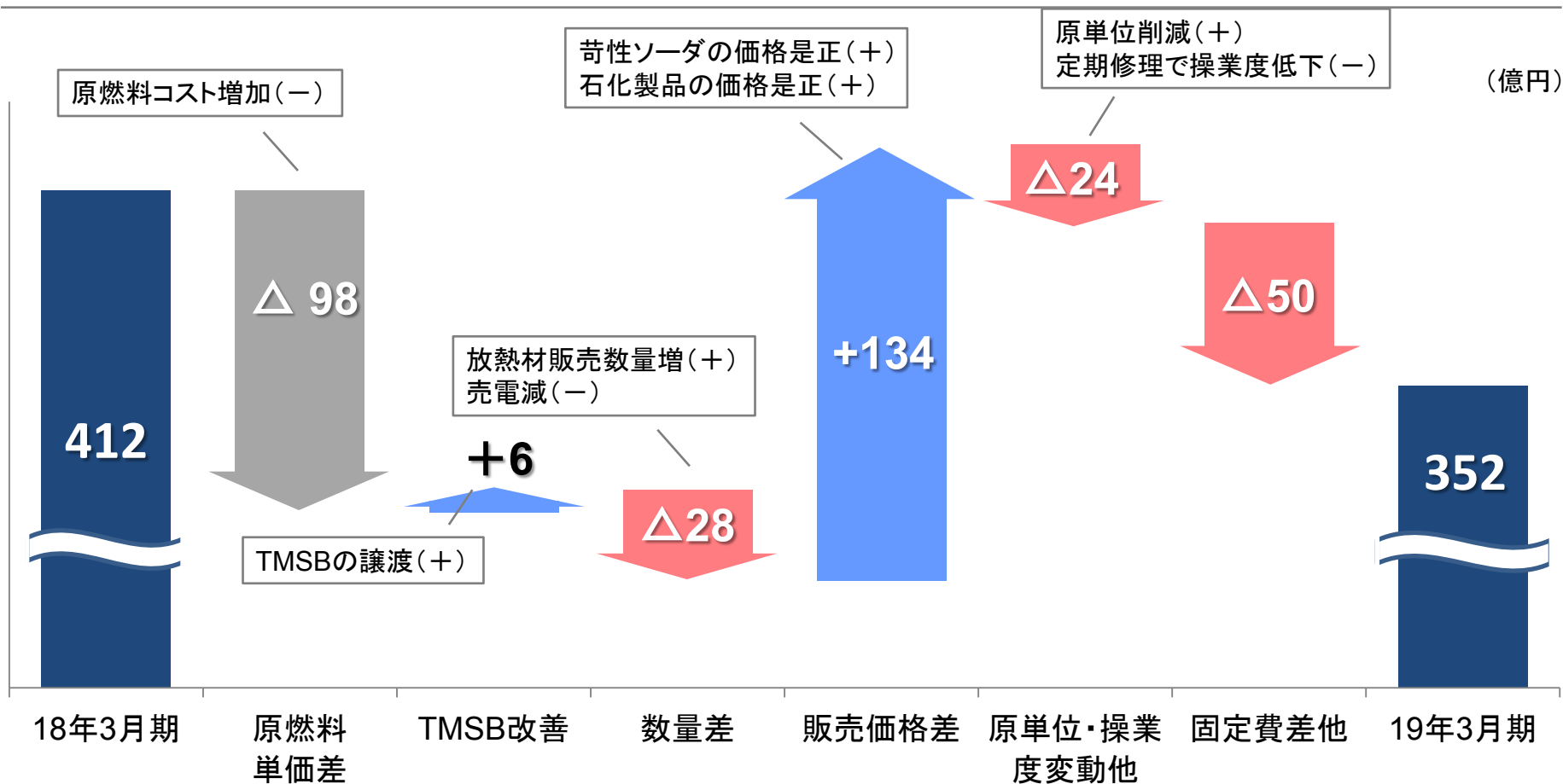
	2018年3月期実績		2019年3月期実績		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	935	161	983	168	+48	+5	+6	+4
特殊品	586	110	596	99	+9	+2	△10	△10
セメント	873	45	923	32	+50	+6	△13	△30
ライフアメニティー	515	37	543	32	+28	+5	△4	△13
その他	545	62	623	43	+78	+14	△18	△30
計	3,456	416	3,671	375	+214	+6	△41	△10
セグメント間 消去・全社費用	△376	△4	△425	△23	△48	-	△18	-
連結決算	3,080	412	3,246	352	+165	+5	△60	△15

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別



*TMSB: トクヤママレーシア

2 2020年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想
3. 営業利益増減分析
4. 投資計画



1. 業績予想

(億円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,246	3,430	+183	+6	主要製品の販売数量増加
営業利益	352	390	+37	+11	販売数量の増加
経常利益	334	390	+56	+17	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 当期純利益	342	305	△37	△11	特別利益の減少
1株当たり 当期純利益(円)	493.26	438.88	-		-
為替(円/\$)	111	110	-		-
国産ナフサ価格 (円/kl)	49,500	44,000	-		-

2. セグメント別業績予想

(億円)

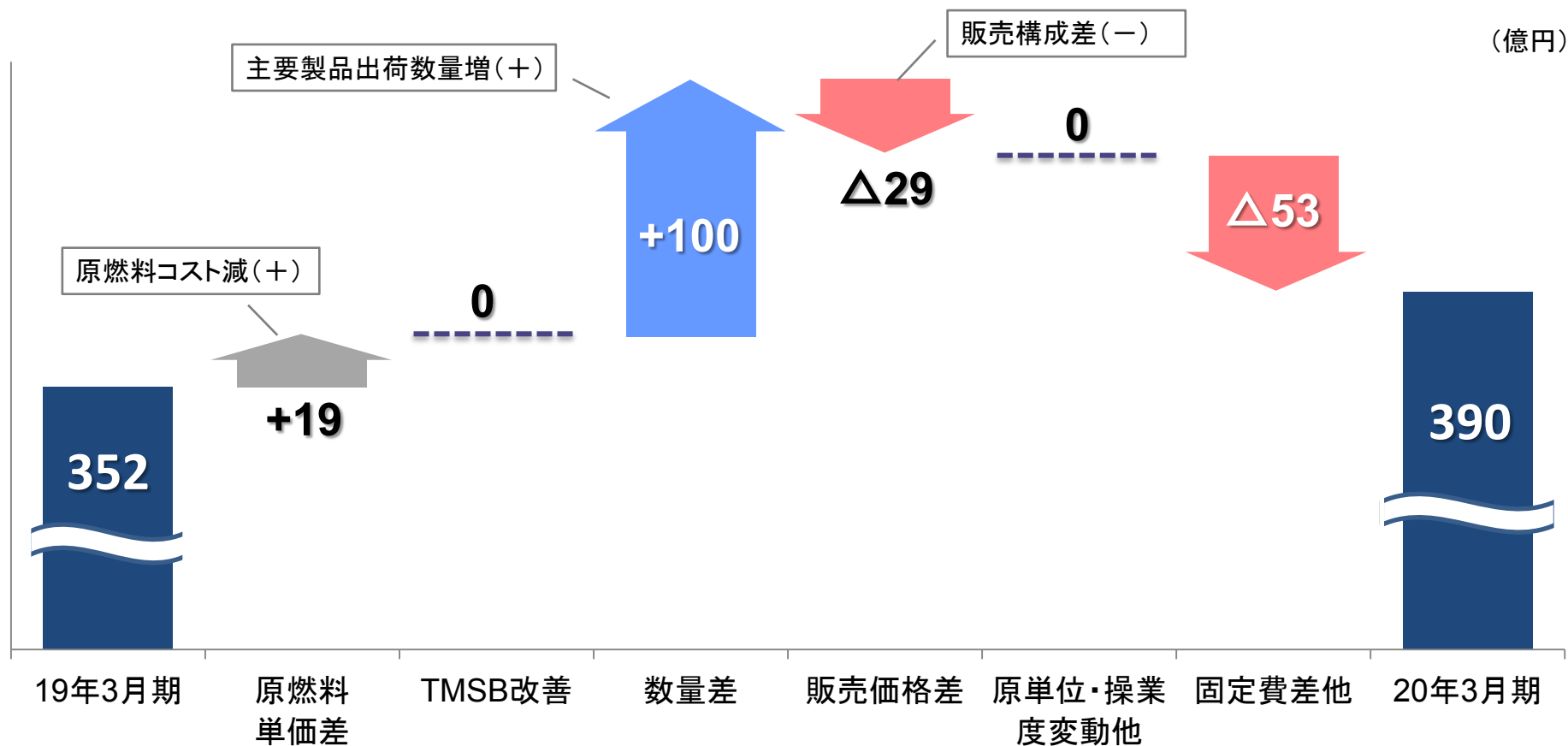
	2019年3月期実績		2020年3月期予想		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	983	168	1,030	185	+46	+5	+16	+10
特殊品	596	99	670	110	+73	+12	+10	+11
セメント	923	32	940	35	+16	+2	+2	+9
ライフアメニティー	543	32	580	40	+36	+6	+7	+23
その他	623	43	640	45	+16	+3	+1	+4
計	3,671	375	3,860	415	+188	+5	+39	+10
セグメント間 消去・全社費用	△425	△23	△430	△25	△4	-	△1	-
連結決算	3,246	352	3,430	390	+183	+6	+37	+11

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3. 営業利益増減分析

(対 当 期 比)

要因別



*TMSB: トクヤママレーシア

4. 投資計画

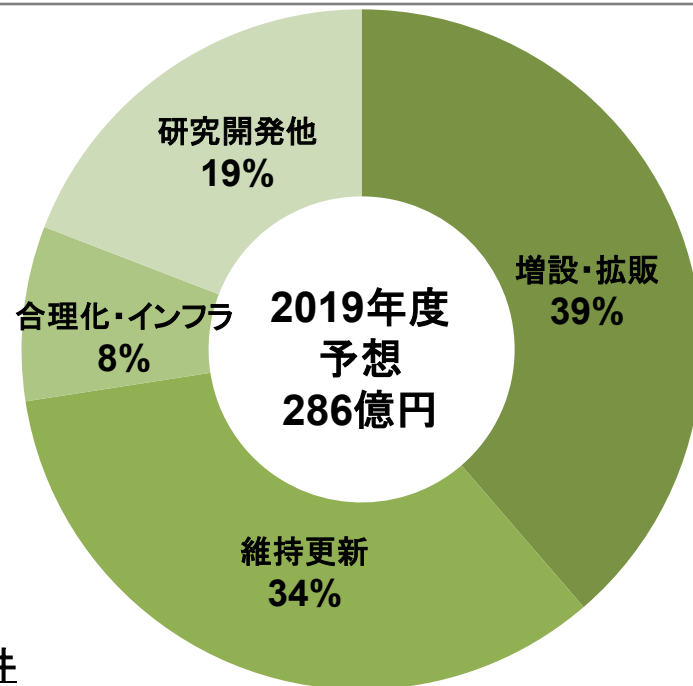
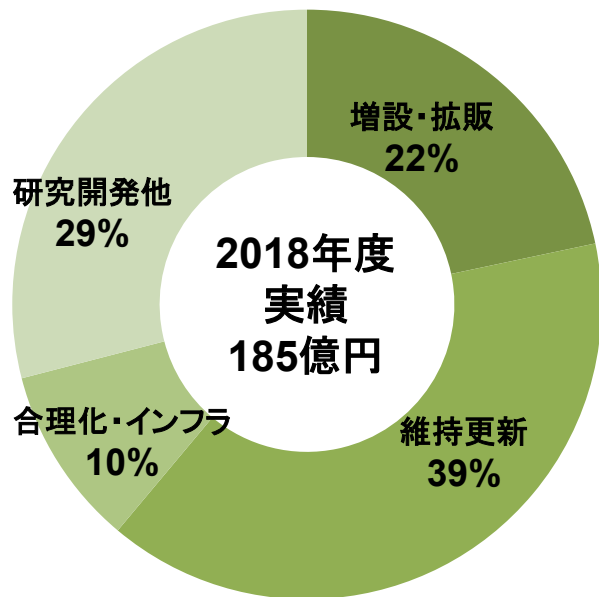
連 結

(億円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	増 減
設備投資額	185	286	+101
減価償却費	150	171	+20
研究開発費	80	94	+13

4. 投資計画

設備投資の内訳



主な成長投資案件

窒化アルミ粉末・顆粒増産
TMAH増強
徳山製造所港湾の増強
(台湾徳亞瑪)第2工場建設

窒化アルミ粉末増産
TMAH増強
(徳山化工)半導体用薬液出荷設備
港湾インフラ整備

③ 中期経営計画の進捗

1. 目標数値の進捗
2. 重点課題の成果と今後の施策
3. 成長事業の取り組み
4. 伝統事業の取り組み
5. 配当



3 中期経営計画の進捗

1. 目標数値の進捗

	2015年度	2018年度	2020年度 目標値	進捗評価
売上高	3,071億円	3,246億円	3,350億円	計画通り進捗
営業利益	230億円	352億円	360億円	原燃料価格上昇を吸収しきれずに減益、目標未達
ROA	5.7%	9.5%	10%	総資産回転率は前年比で改善したものの、インプットコスト増による売上高営業利益率低下により目標未達
売上高 営業利益率	7.5%	10.9%	10%	
総資産回転率	0.77回転	0.88回転	1.0回転	
財務指標	CCC	69日	55日	計画通り進捗
	D/Eレシオ	4.7倍	0.8倍	1倍
為替(¥/US\$)	120	111	110	
国産ナフサ価格(¥/kl)	42,800	49,500	58,000	

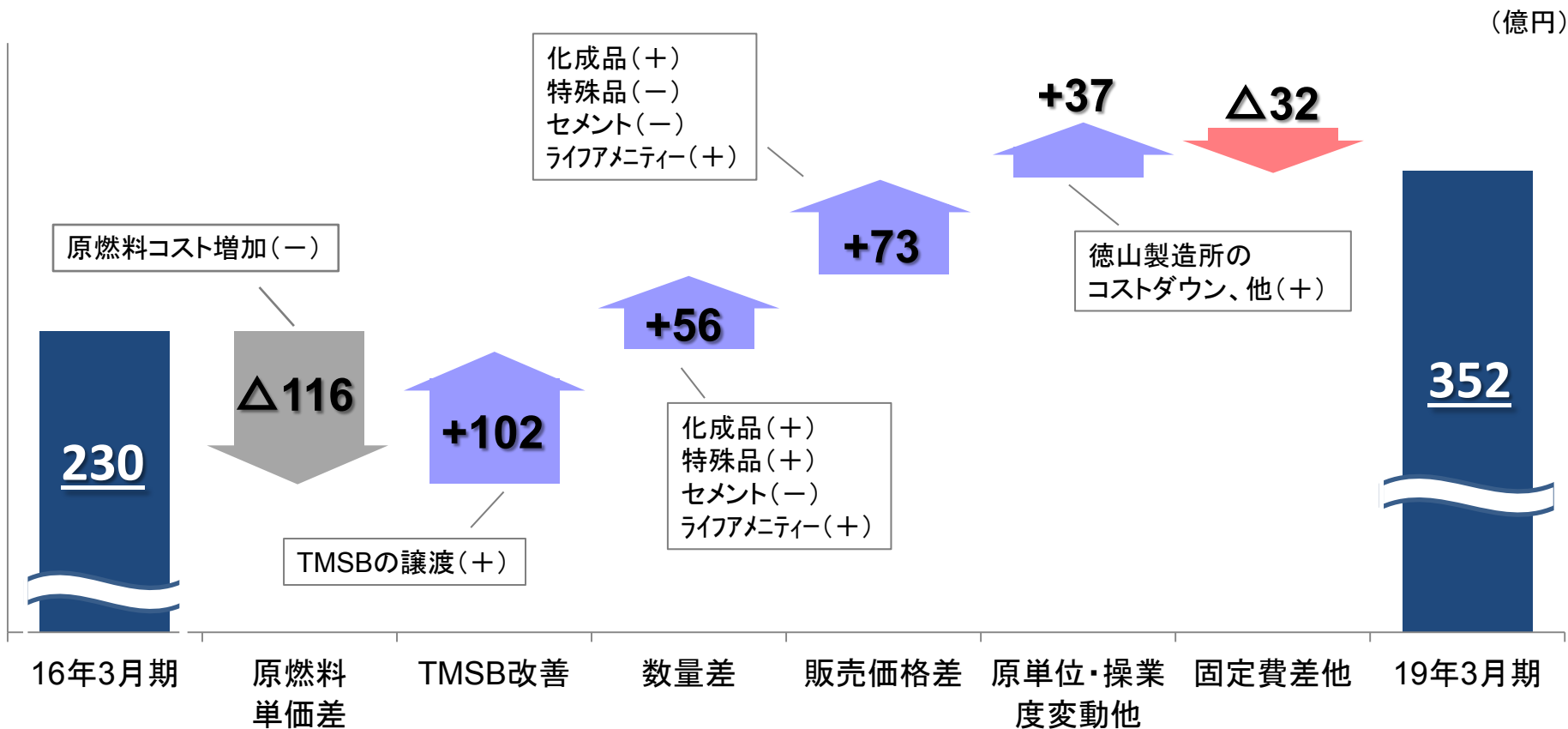
注: CCC(キャッシュコンバージョンサイクル): 売掛債権回転日数 + 棚卸資産回転日数 - 買入債務回転日数、

ROA: 営業利益/総資産で算出

3 中期経営計画の進捗

1. 目標数値の進捗

要因別営業利益増減(3年間の進捗)



*TMSB: トクヤママレーシア

2. 重点課題の成果と今後の施策

	2018年度の成果	2019年度の施策
組織風土の変革	<ul style="list-style-type: none">■ ダイバーシティ推進■ 社外人材の積極登用■ シニア社員人事制度の運用	<ul style="list-style-type: none">■ 総合人事制度の改定■ 社外人材の積極登用(継続)■ 働き方改革推進
事業戦略の再構築	<ul style="list-style-type: none">■ 半導体用多結晶シリコンの品質差別化・価格是正■ 放熱材製品群のラインナップ拡充■ 放熱材、ICケミカル製品の能力増強■ ヘルスケア関連製品の海外展開加速■ 港湾・構内物流の強化・効率化	<ul style="list-style-type: none">■ ヘルスケア関連事業展開■ IoT、AI活用による業務効率化、プラント運営効率化■ 環境関連事業(水素活用、水処理、CO₂関連)の強化
グループ経営の強化	<ul style="list-style-type: none">■ 微多孔質フィルム中国2社、エクセルシャノンの収益改善■ 新事業評価制度の運用開始	<ul style="list-style-type: none">■ 物流関連グループ会社間の連携強化による物流の効率化、費用削減
財務体質改善	<ul style="list-style-type: none">■ 劣後ローン借換■ 有利子負債の削減、金利負担軽減	<ul style="list-style-type: none">■ A格復帰に向けた自己資本積上

3. 成長事業の取り組み

ICT関連製品

半導体ウェハ用 原料	<ul style="list-style-type: none">■ フル生産維持■ 更なる高品質の追及による他社の差別化
フォトレジスト用 現像液	<ul style="list-style-type: none">■ 能力増強（'20年4月営業運転開始）
半導体精密洗浄	<ul style="list-style-type: none">■ 徳山化工および台湾第2工場によるアジアの高純度IPA供給体制強化■ 新規エッチング材料開発
CMP用原料	<ul style="list-style-type: none">■ 乾式シリカの販売数量増
放熱材	<ul style="list-style-type: none">■ 能力増強（'20年4月営業運転開始）■ 製品ラインナップ拡充

3. 成長事業の取り組み

ヘルスケア関連製品



- 歯科材料
- 医薬品原薬・中間体



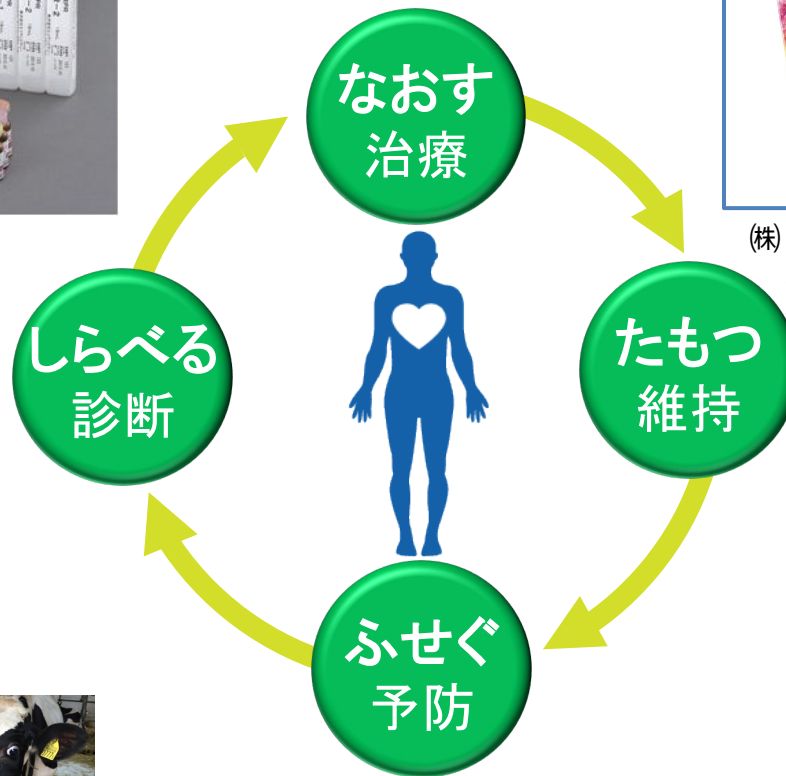
(株)トクヤマデンタル「オムニクロマ」
(歯科充填用コンポジットレジン)

- 医療診断システム
- 臨床検査試薬
- 動物医療周辺材料



- フォトクロミック材料
- 乳牛の乳頭保護材
- サプリメント

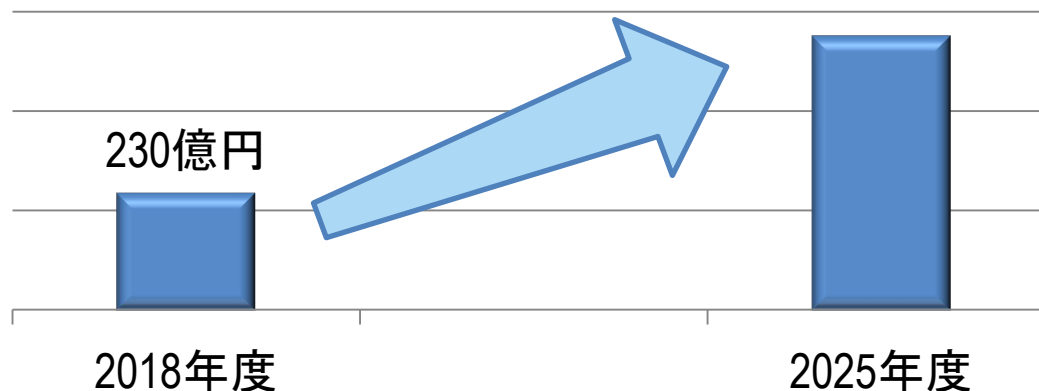
- OPPフィルム (食品包装材)
- 微多孔質フィルム (紙おむつ材料)



3. 成長事業の取り組み

ヘルスケア関連製品

医薬品原薬・ 中間体	<ul style="list-style-type: none">■ 医薬品事業の安定と拡大■ 医薬品周辺事業(化粧品、サプリ、動物)の展開
メガネ関連材料	<ul style="list-style-type: none">■ 顧客との協業による販売拡大■ 特有技術の他分野への展開
歯科器材	<ul style="list-style-type: none">■ 大型新製品(コンポジットレジン)北米で先行上市、欧州・日本で今後展開
診断システム	<ul style="list-style-type: none">■ グローバル展開強化による販売先拡大



3. 成長事業の取り組み

医薬品原薬・中間体事業

医薬品周辺事業

化粧品素材

- 自社製品(無機化学品)を用途展開

医薬品事業

- ✓ 開発パイプラインの拡充
(原薬 2~3品目/年)
- ✓ 既存製品の収益性向上
拡販、価格是正、製造コストダウン

サプリメント素材

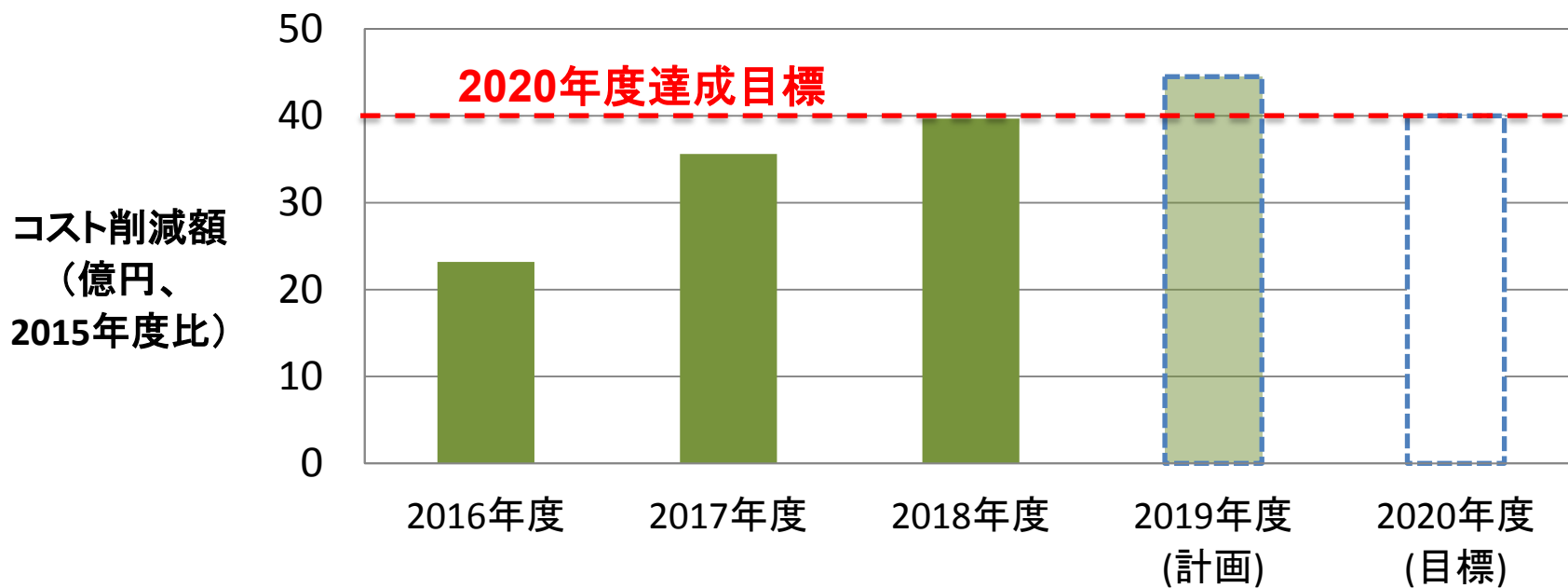
- 他社との協業

動物医療

- ティートナー
(乳牛乳頭保護材)
拡販・欧米展開

4. 伝統事業の取り組み

- 2018年度のコスト削減額は、2017年度を上回る実績で、2020年度目標にほぼ到達。
- 2019年度は、新規のコスト削減テーマの立ち上げなどにより、更なる積上げを図る。



5. 配当

➤2020年3月期

引き続き中期経営計画に沿った利益計画の見込み

中間配当、期末配当について、それぞれ35円の配当を予定

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
中間配当金 (円)	15.0	0.0	0.0	0.0	10.0	25.0	(35.0)
期末配当金 (円)	15.0	0.0	0.0	0.0	20.0	25.0	(35.0)
配当性向 (%)	20.4	—	—	—	11.5	10.1	(15.9)

(注1) 2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合いたしました。金額の比較のため、上表では2013年度の配当金から併合を反映した金額としています。

(注2) 2014～2016年度の配当性向は、当期純損失であるため記載していません。

(注3) () 内の数値は、予想値です。

(注4) 2017年度期末配当金には100周年記念配10円を含みます。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA



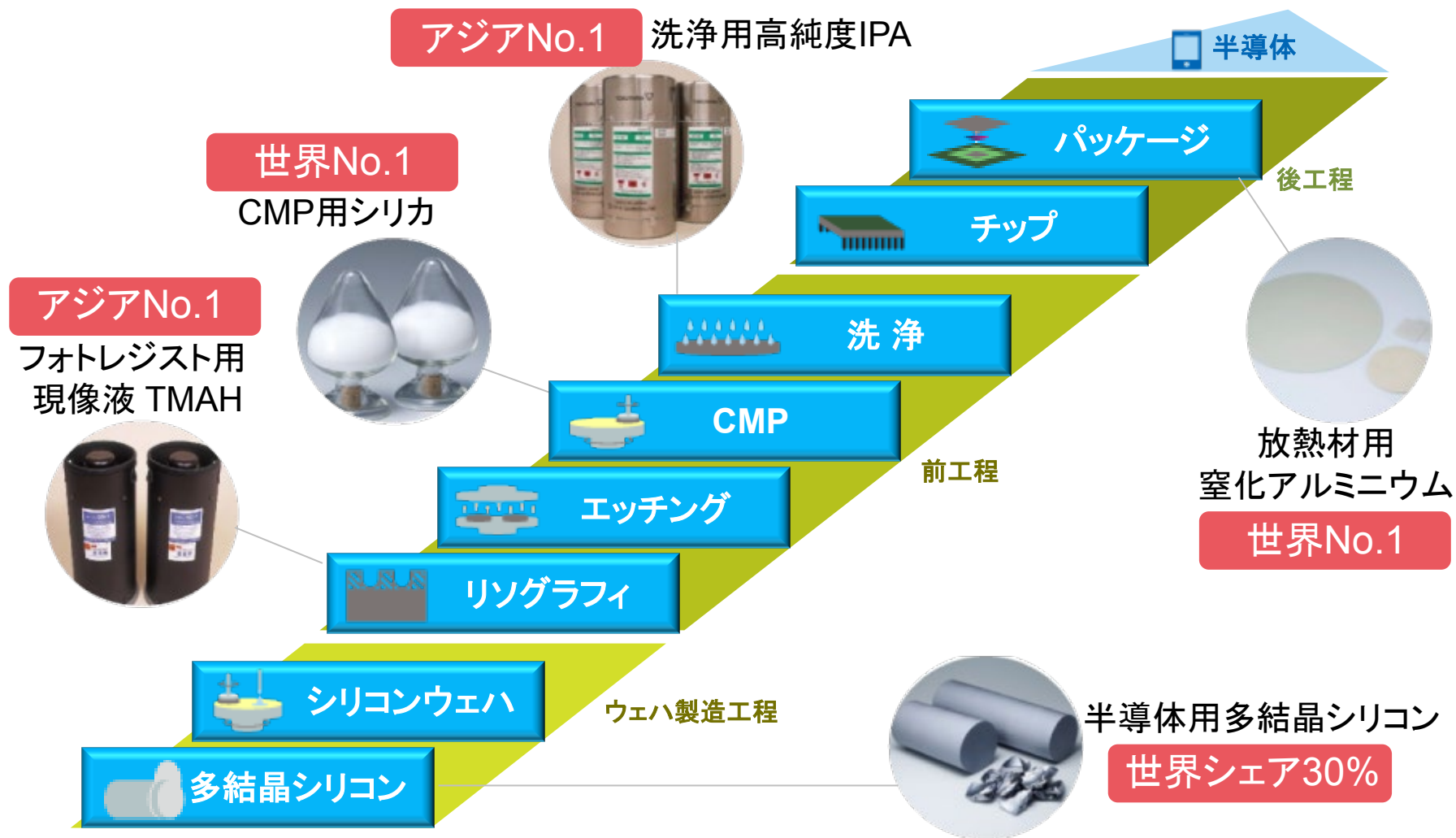


4 補足資料

1. 成長事業の取り組み
2. 部門別の状況
3. 連結財務諸表(要約)
4. 有利子負債削減
5. 営業外損益・特別損益・金融収支
6. 業績推移
7. 営業利益増減分析
8. 設備投資額・減価償却費推移
9. 有利子負債残高推移
10. フリー・キャッシュフロー推移
11. 財務体質改善

1. 成長事業の取り組み

ICT関連製品



2. 部門別の状況(化成品セグメント)

施策

- 主要製品の拡販
- 原単位や固定費などの製造コスト削減
- 構内倉庫の活用による在庫の最適化

2019年3月期実績

苛性ソーダ

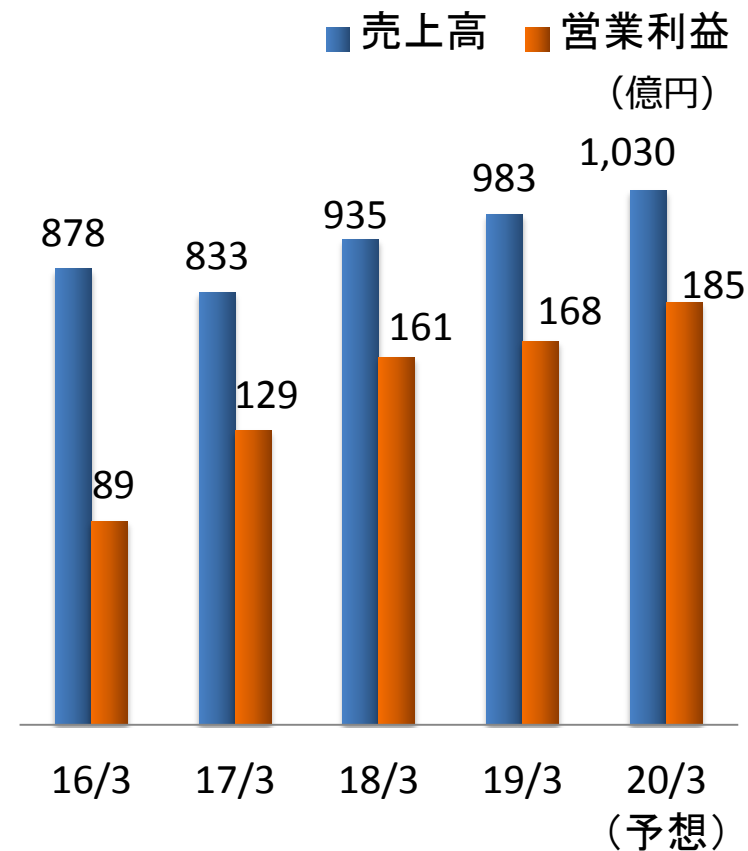
- 価格是正により業績が大きく伸長

塩ビ樹脂

- 販売数量は堅調に推移したものの、国産ナフサ等の原料の価格上昇により減益

塩化カルシウム

- 暖冬の影響で販売数量が減少し、減益



(注) 16/3期の営業利益には
休止部門費の影響額を含んでおりません。

2. 部門別の状況(特殊品セグメント)

施策

<電子材料事業>

- 顧客の性能向上要求に応える技術開発

<放熱材事業>

- 生産能力増強及び製品ラインナップの拡充

<ICケミカル事業>

- アジア地域における供給体制確立

2019年3月期実績

電子工業用高純度薬品

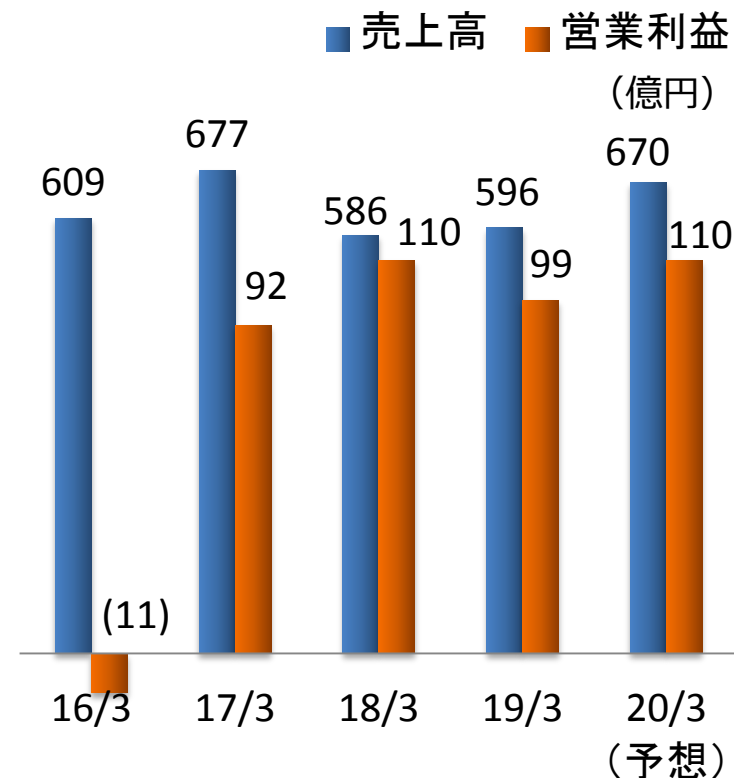
- 半導体製品用途で販売数量は堅調に推移したものの、国産ナフサ等の原料価格上昇により減益

放熱材

- 半導体製造装置部材向けを中心に販売数量が増加

多結晶シリコン

- 販売数量は堅調に推移したものの、原燃料価格の上昇等により減益



(注)16/3期の営業利益には
休止部門費の影響額を含んでおりません。

4 補足資料

2. 部門別の状況(セメントセグメント)

施策

- 原料コスト増加分の販売価格への転嫁
- 廃プラスチック受入増による石炭原単位削減
- 安定した稼働率の維持による廃棄物受入量の増加
- 製造コストの徹底した削減

2019年3月期実績

セメント

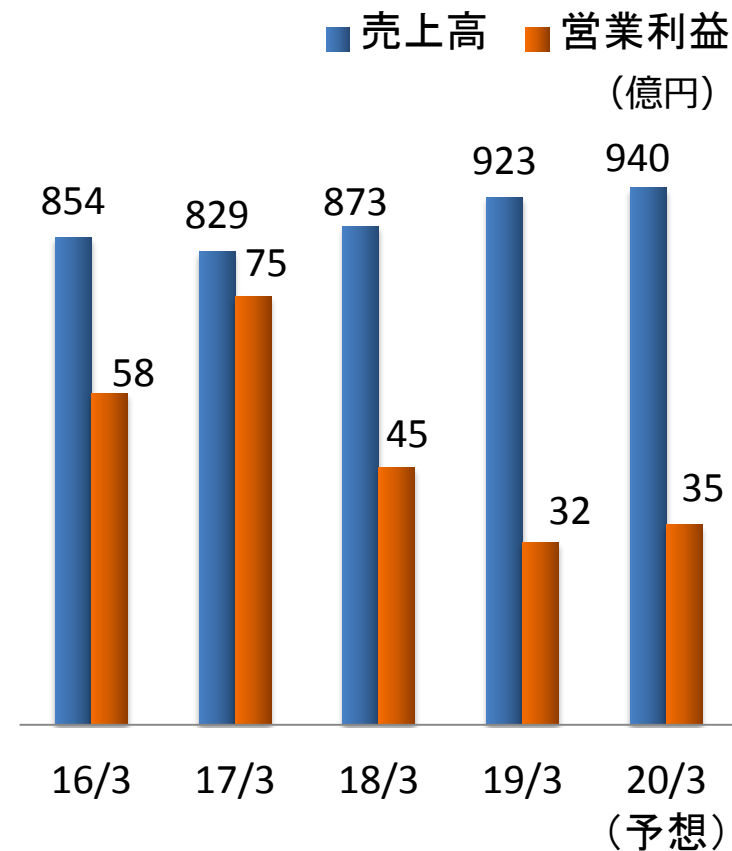
- 国内の出荷は軟調に推移、及び石炭等の原料価格が上昇した結果、減益

資源リサイクル

- ほぼ前年並みの業績

連結子会社

- セメント関連製品の出荷が堅調に推移し、増収



(注)16/3期の営業利益には
休止部門費の影響額を含んでおりません。

4 補足資料

2. 部門別の状況(ライフアメニティーセグメント)

施策

- 製品開発から上市までのパイプラインの強化
- 開発品の確実な上市による品目数の積上げ
- 海外における生産及び販売の拡大
- 販売パートナーとの緊密な連携による販売数量の増大

2019年3月期実績

プラスチックレンズ関連材料

- メガネレンズ用フォトクロミック材料の出荷が好調

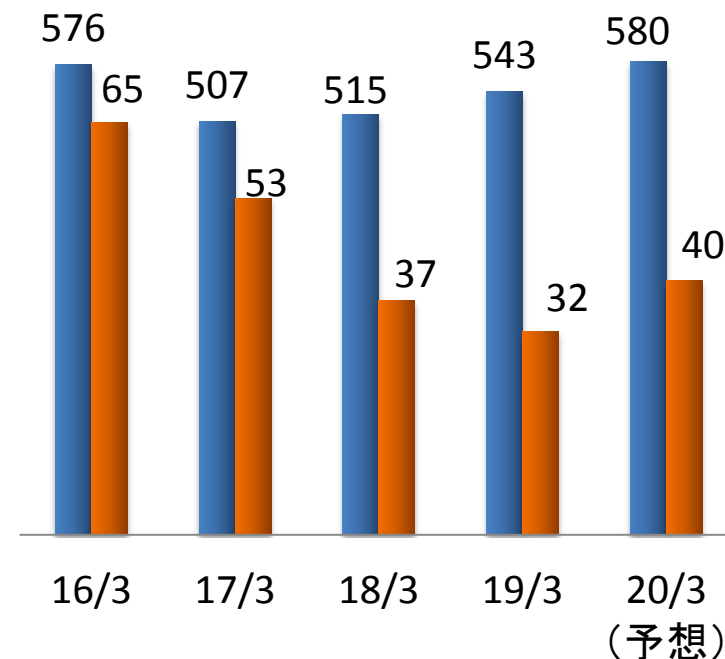
イオン交換膜

- 出荷は堅調に推移したものの、大型案件のあった前期比では減益

医薬品原薬・中間体及び歯科器材

- それぞれ販売数量が増加し、業績は堅調に推移

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



(注) 16/3期の営業利益には
休止部門費の影響額を含んでおりません。

4 補足資料

3. 連結財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	2018年3月期	2019年3月期	差損益	
			金額	%
売上高	3,080	3,246	+165	+5
売上原価	2,077	2,266	△189	△9
販管費	590	627	△36	△6
営業利益	412	352	△60	△15
営業外損益	△50	△18	+32	-
経常利益	361	334	△27	△8
特別損益	△33	46	+79	-
税引前当期純利益	328	380	+51	+16
法人税等	75	29	+45	+60
非支配株主損益	56	7	+49	+87
親会社株主に帰属する 当期純利益	196	342	+145	+74

(注)差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

4 補足資料

3. 連結財務諸表(要約)

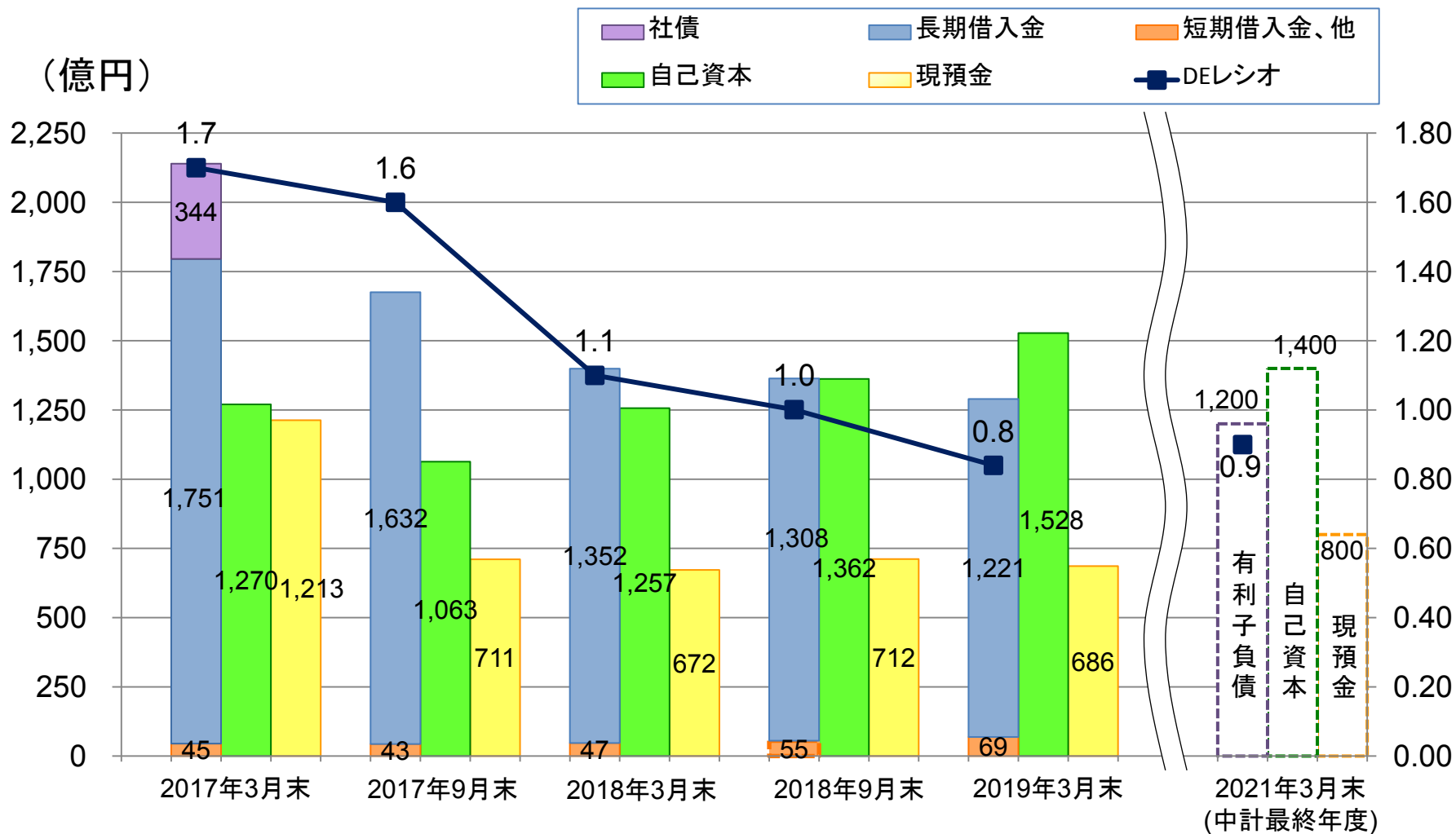
貸借対照表

(億円)

	2018年3月末	2019年3月末	増減	
			金額	%
資産合計	3,619	3,796	+176	+5
流動資産	1,910	2,029	+119	+6
有形固定資産	1,102	1,161	+58	+5
無形固定資産	27	19	△7	△29
投資その他の資産	579	586	+7	+1

	2018年3月末	2019年3月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,253	2,161	△92	△4
流動負債	930	932	+2	+0
固定負債	1,323	1,228	△94	△7
純資産合計	1,365	1,635	+269	+20

4. 有利子負債削減



4 補足資料

5. 営業外損益・特別損益・金融収支

連結（前期比）

（億円）

		2018年3月期	2019年3月期	差損益
営業外収益	受取利息・配当金	4	5	+0
	その他	41	42	+1
	計	46	48	+1
営業外費用	支払利息	37	24	+12
	その他	60	42	+17
	計	97	66	+30
営業外損益		△50	△18	+32

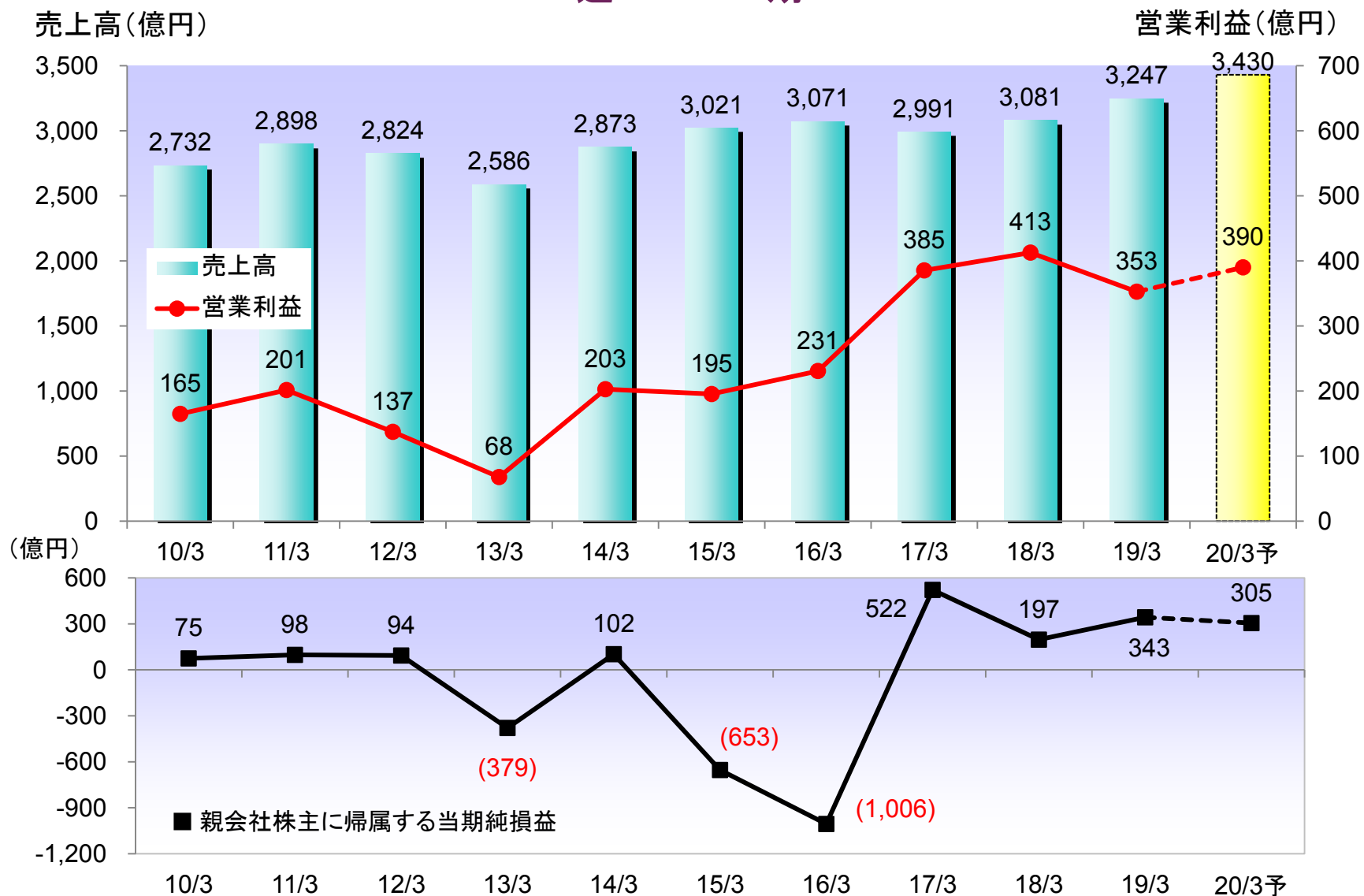
特別利益	85	73	△11
特別損失	118	27	+90
特別損益	△33	46	+79

金融収支	△32	△19	+12
------	-----	-----	-----

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

6. 業績推移

通 期

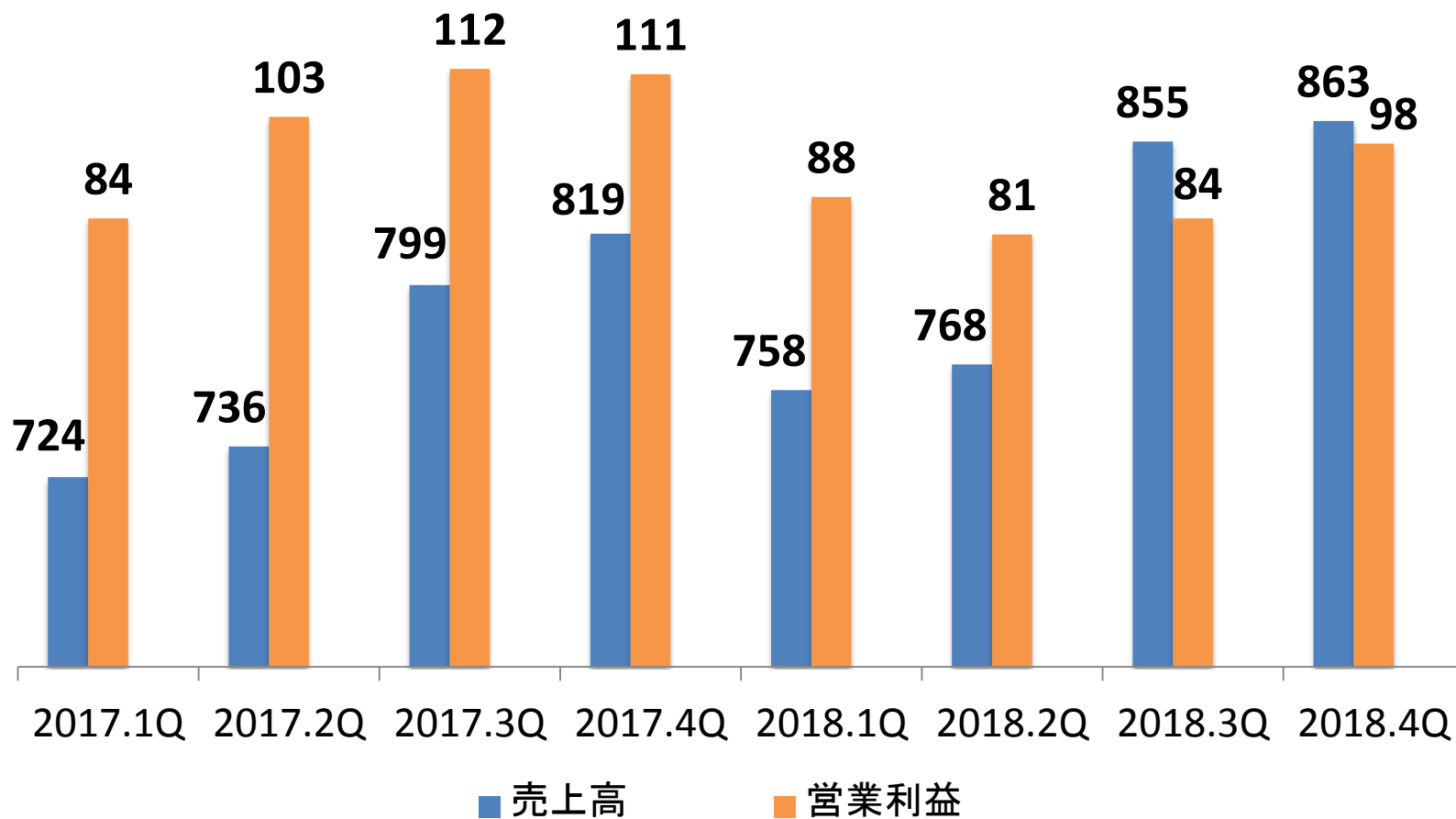


6. 業績推移

連結

四 半 期

(億円)

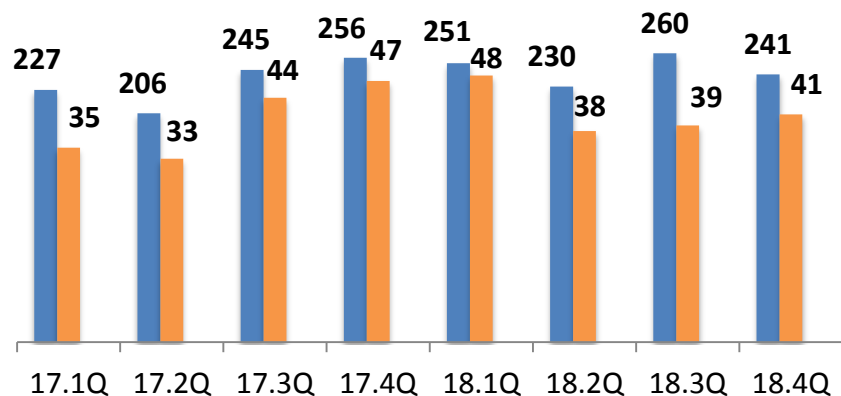


6. 業績推移

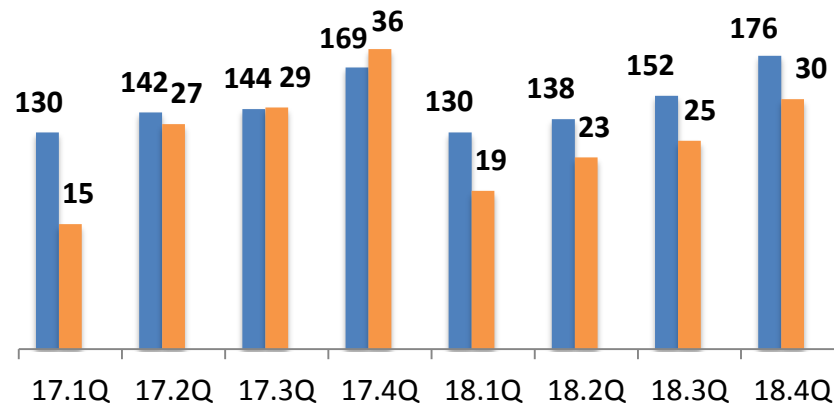
四 半 期

(億円)

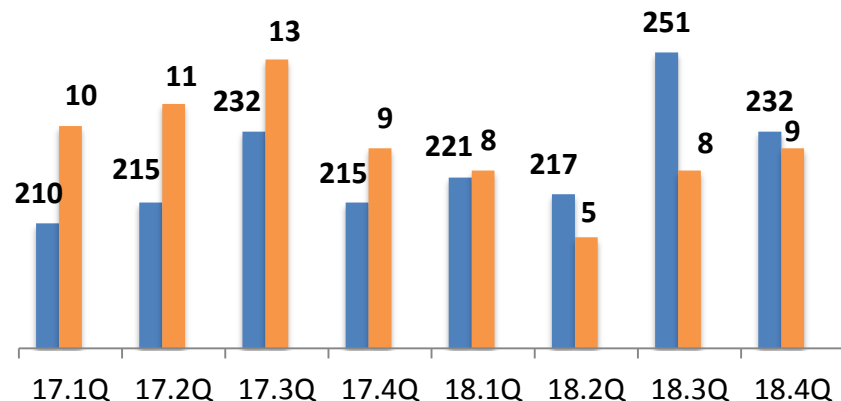
化成品



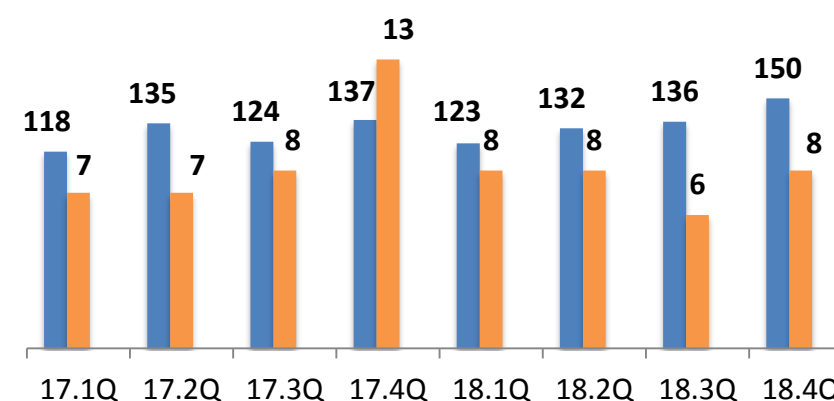
特殊品



セメント



ライフアメニティー



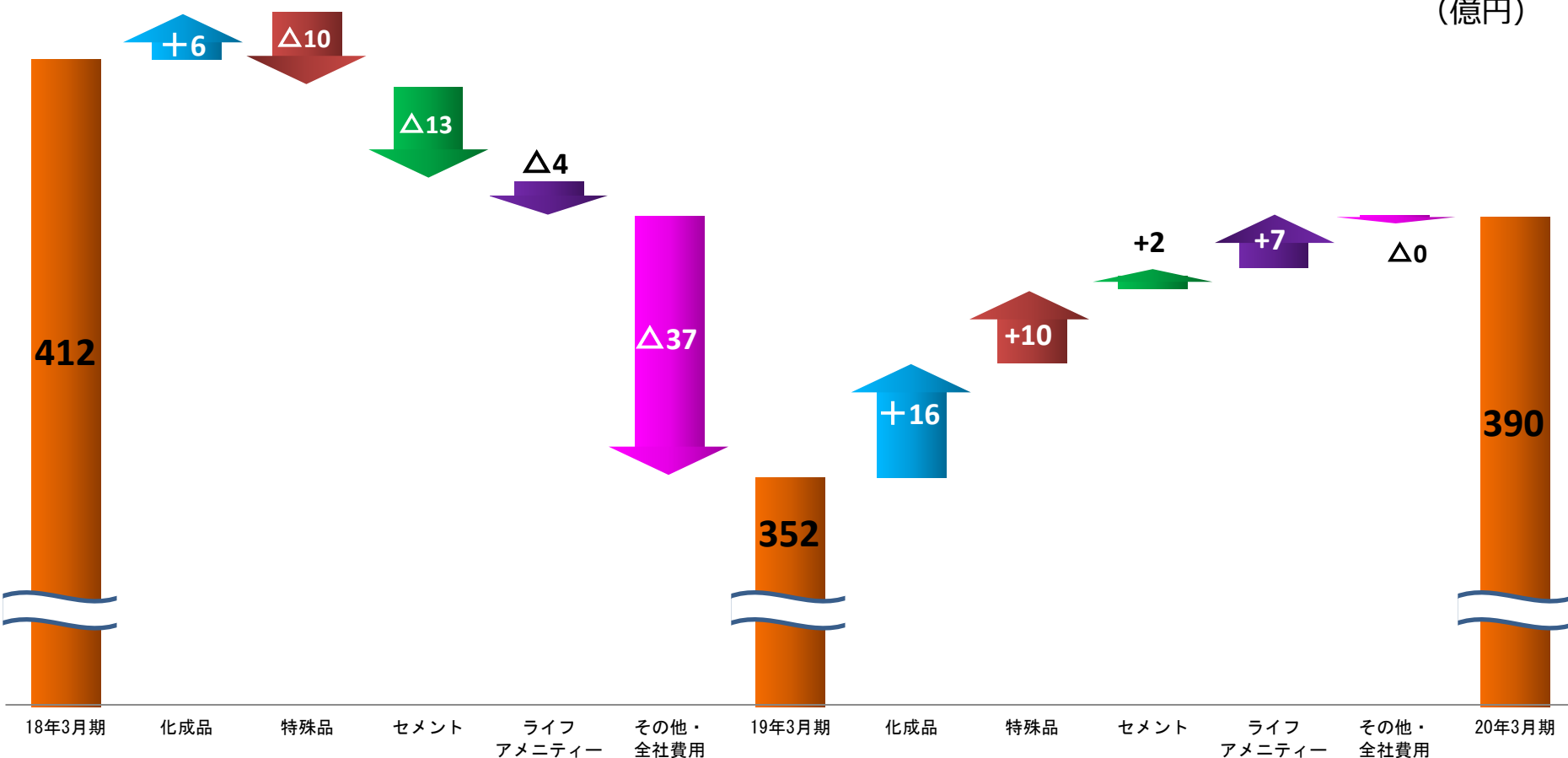
■ 売上高 ■ 営業利益

7. 営業利益増減分析

セグメント別

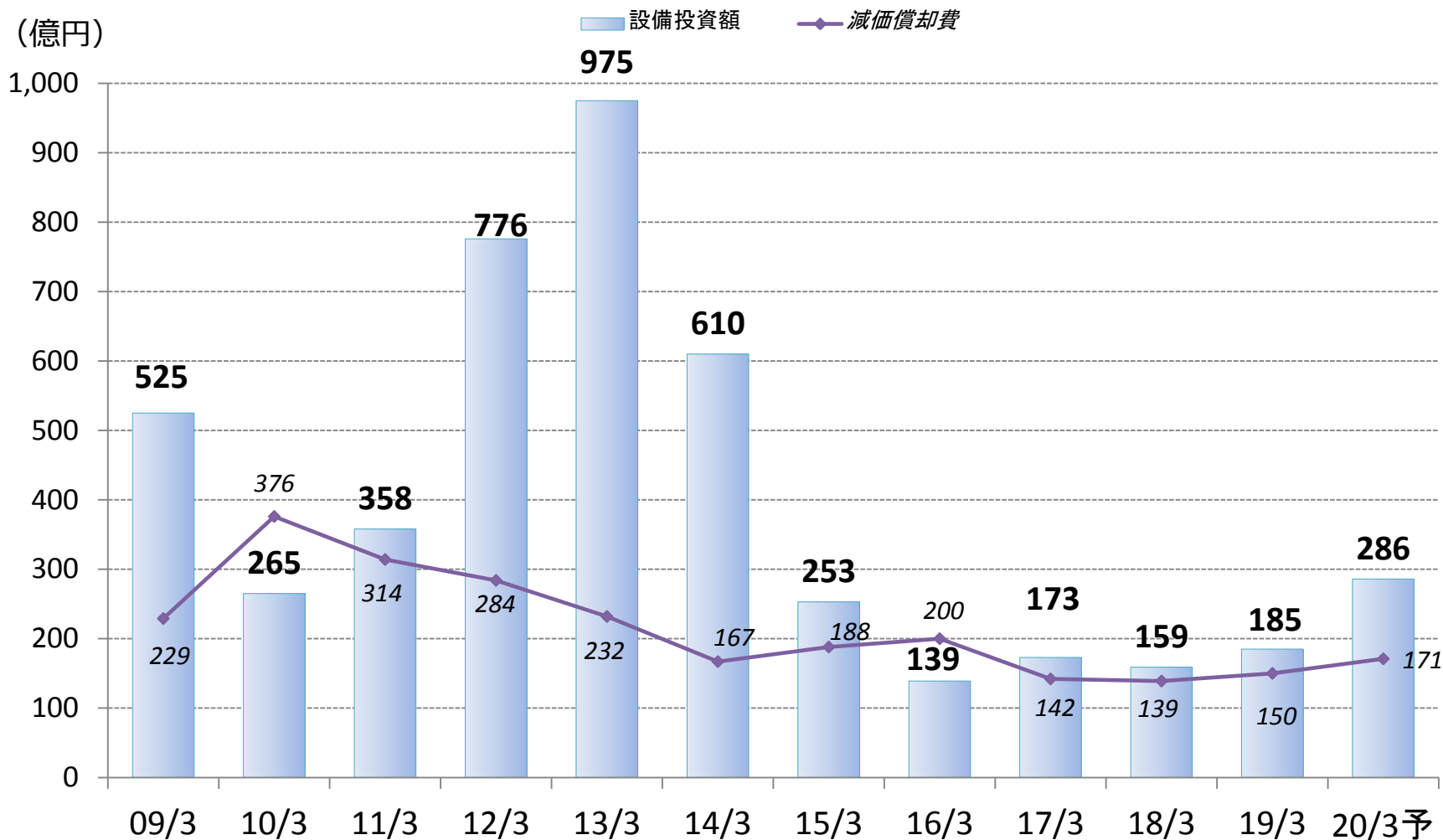
前期実績と今期予想

(億円)



8. 設備投資額・減価償却費推移

連 結

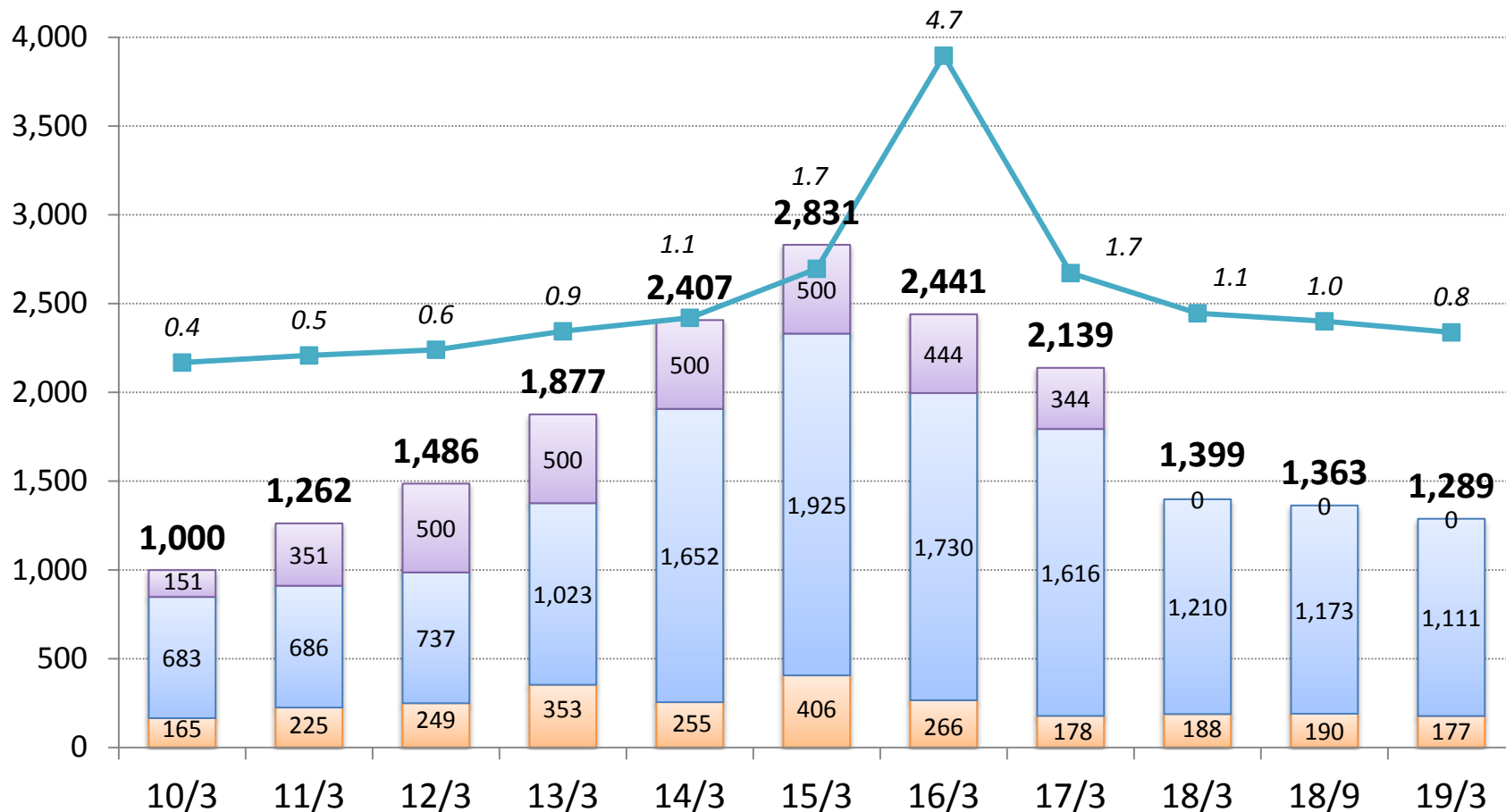


9. 有利子負債残高推移

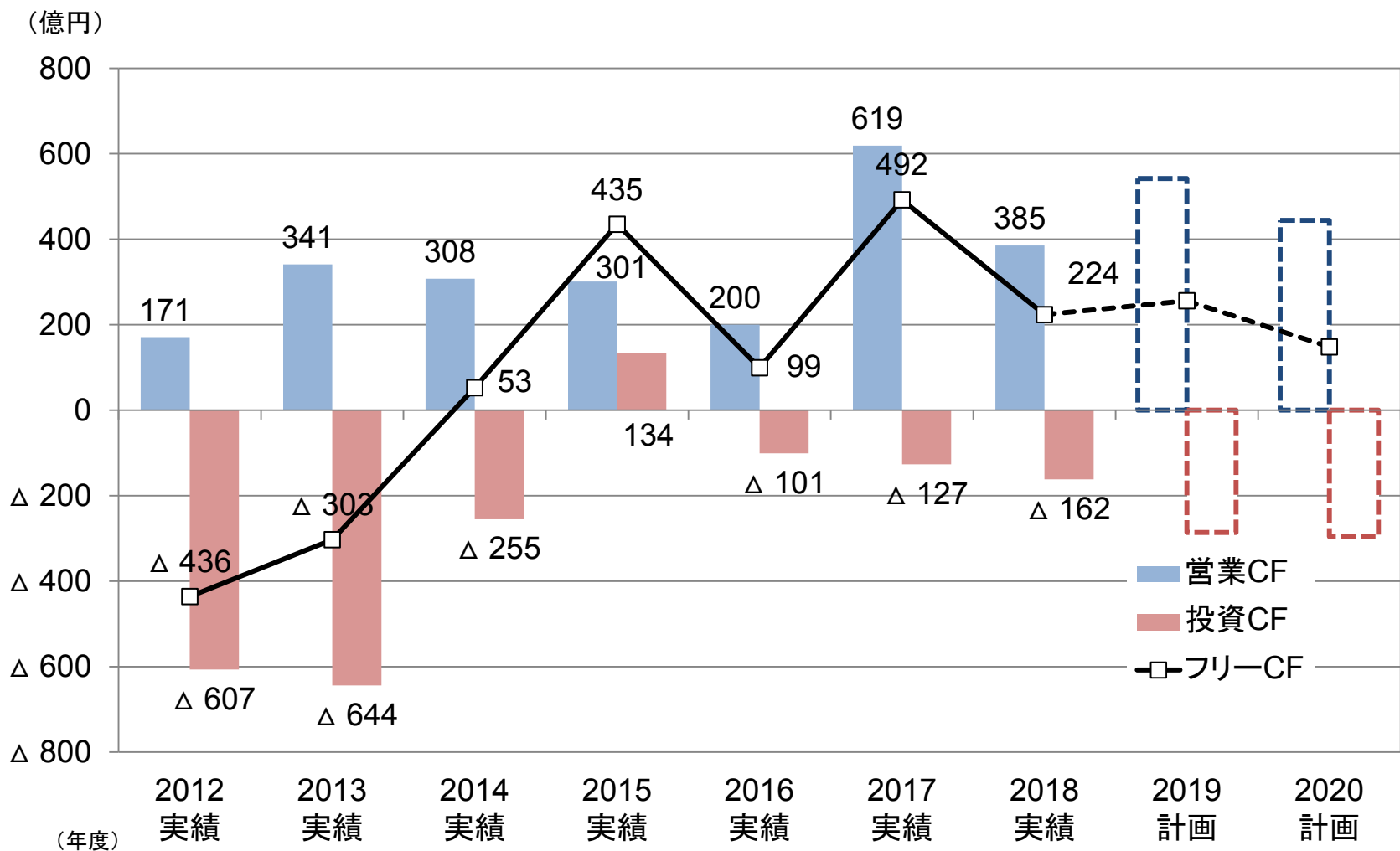
連 結

(億円)

短期借入金(1年内返済長期借入金含む) 長期借入金 社債 D/Eレシオ

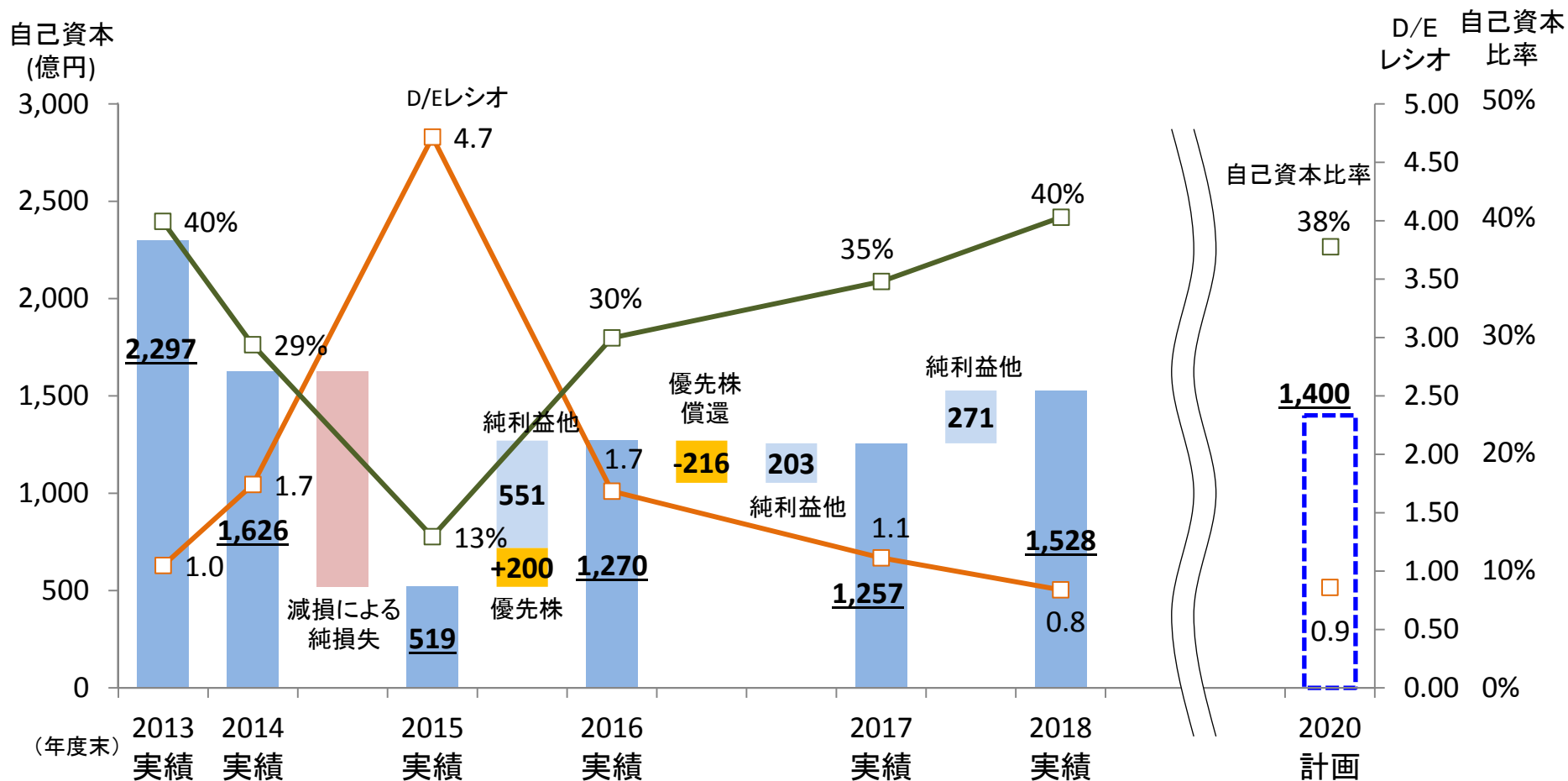


10. フリー・キャッシュフロー推移



11. 財務体質改善

自己資本、財務指標の推移



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA

